

長野県では5月中に3件の農作業死亡事故が発生しました。特に疲れが出始める屋前や夕方に多く発生しています。農業機械の取り扱いには十分注意して、余裕を持って安全な農作業を心掛けるようにお願いします。

表：トマトの主な作型

作型	半促成 無加温	ハウス 雨よけ	露地
1月	播種		
2月		播種	
3月	定植		
4月			播種
5月		定植	
6月	収穫		定植
7月			
8月			収穫
9月			
10月			
11月			
12月			

トマト栽培の基本・ポイント

畑の準備

トマトは連作（連続して同じ作物を作ること）を嫌います。作付けするときは前年度にナス科（トマト、ナス、ジャガイモ等）の作物を作っていない場所を選びましょう。日当たりがよく、排水が良い場所が◎。

播種・育苗

床土は土：有機物＝1：1を目標とします。発芽当初に強い光が当たると日焼けを起こすので、晴天の場合は寒冷紗等で覆いをするとよいです。夜間に床土が多湿状態になると徒長しやすくなるので、かん水は午前中に行いましょう。多量のかん水と夜温の低温（7～8℃以下）は乱形果の原因となります。

畝づくり・定植

トマトは深根性の作物であるので、作土層を深くするために25～30cmの高うねとします。2条抱きうね方式（1うね2条）の場合、うね幅は180cm程度にし、光が入りやすいようにします。

第1花房の1～2花が開花している頃の苗が定植時期です。

収穫までの管理～脇芽かき、追肥、ホルモン処理～

生育初期の脇芽は根の発達にプラスに働くので少し遅めに摘みます。それ以降に関しては、花房直下の脇芽は生長が早く果実との養分競合を起こすため少し早めに、それ以外の脇芽は少し遅めに行うとよいでしょう。

追肥のタイミングは第3花房の果実がピンポン玉より大きくなる頃です。それ以降は様子を見ながら7～10日おきに行います。第3花房の開花頃まではかん水は控えめにし、以降も過湿、過乾にならないように少量で頻度を増やすようにしてください。

また、着果肥大を促進するためにホルモン剤（トマトーン）がよく用いられます。高温時（30℃以上）には使用せず、つぼみへの散布を避け、1花房に3～4花咲いたときに散布してください

摘心

目標の花房まで開花したら上の葉3枚を残し、それ以降は摘心します。これにより熟期を早め、充実した果実になります。

## 鉢花の夏の管理について

梅雨入りを迎え、これから暑くなってくる季節です。鉢花の夏にかけての管理のポイントをお伝えします。

### ・置き場所を選ぶ



鉢花は観葉植物と比べて一般的に光を好むため、日の差し込む明るい場所に置くのが基本です。しかし、これからの季節は日差しが強くなり、気温も上昇してきます。したがって、寒冷紗などで日陰を作り、乾燥しないように気を付けましょう。また、鉢蒸れを起こさないためにも、風通しの良い場所を選びましょう。

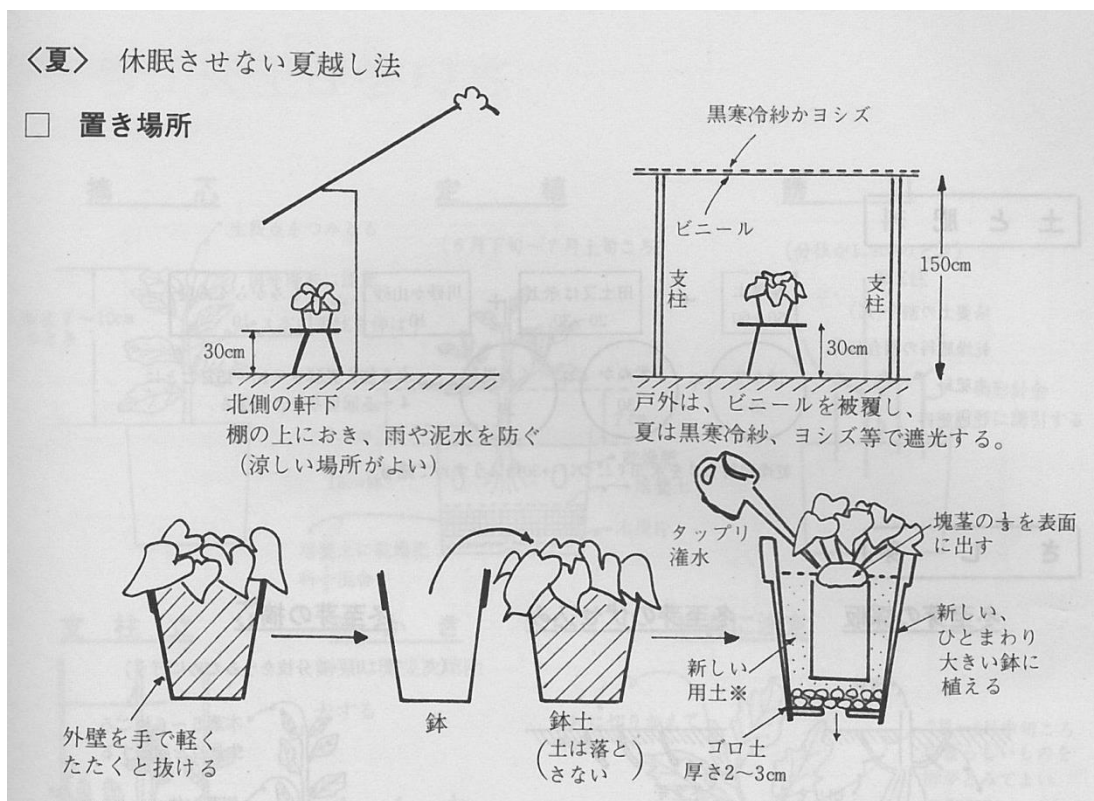
### ・水やりのポイント



水を与える時は**鉢の底から少し流れ出るぐらいたっぷり与えましょう**。その理由は、土の中の古い空気を押し出して新鮮な空気を鉢の中に取り入れ、根に酸素を供給するためです。受け皿にお水を溜めないようにと少なめに与えたり、調子が悪そうだからと少しづつまめに与えたりすると、古い空気が残り、新しい空気の供給が不足するので、かえって根腐れの原因になります。

水やりは午前中に与えるのが理想です。夏場は夕方ひどく萎れてしまったような場合は一度そこで与えて、天気がよければもう一度翌日の午前中に与えましょう。

例：シクラメンの夏場の管理法



### 伊藤組合長のオススメ資材コーナー



#### プレバゾンフロアブル5

今年から適用作物に「メロン」「ふき」「ごま」「とうもろこし」が追加登録されました。組合長によると、特にとうもろこしに対して効果が期待できるので、チョウ目、ハエ目の害虫にお困りの方はぜひオススメです。

### 今月の画像

- ★整地 管理機での畝立て
- ★硝酸イオン濃度の測定の方法

- ★トマトの栽培管理～収穫

電子版はあさつゆレジにて

### あさつゆ連絡先

電話番号：0268-41-1062

E-mail：asatsuyu55@ued.janis.or.jp

### 技術事項作成協力

上小農業改良普及センター（近藤・岡崎）

電話番号：0268-25-7156（直通）